

授業科目名 <英訳>	西洋史学(講読) European History (Seminars)				担当者所属・ 職名・氏名	人文科学研究所 助教 小野 容照					
配当 学年	2回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2015・ 後期	曜時限	水1	授業 形態	講読	使用 言語	日本語
題目	英書講読										
[授業の概要・目的]											
<p>Gi-Wook Shin and Michael Robinson (ed.), Colonial modernity in Korea (Harvard University Asia Center, 1999)を読む。戦前の日本の植民地統治によって朝鮮は近代化したのか否かという議論、いわゆる植民地近代化論争は今もなお続いている。本書は、この論争を扱った英語の論文集としては最も代表的なものである。本書の精読を通して、英文読解の力を養うとともに、植民地朝鮮を見る視点、アメリカの朝鮮研究の傾向について学ぶことを目的とする。</p>											
[到達目標]											
1) 英文読解の力を養う 2) 植民地朝鮮を見る視点、アメリカの朝鮮研究の傾向について理解を深める。											
[授業計画と内容]											
<p>本書は12の論文と序章、終章で構成されている。この中から、いくつかの論文を選んで読んでいく予定である。授業は出席者全員が予習をしてきていることを前提として、事前に報告者(日本語訳する人)を決めない形で行なう。授業中に何人かを指名し、各自複数の文章を訳してもらう。</p> <p>初回は授業ガイダンスおよび朝鮮の歴史について簡単に説明し、第2回は講読対象となる本の説明(植民地近代化論争史)に充て、第3回から実際に英文を読んでいく予定である。</p>											
[履修要件]											
特になし											
[成績評価の方法・観点及び達成度]											
期末試験は行わず、平常点(出席・予習)で評価する。											
[教科書]											
授業で使用するテキストは、担当教員が準備して配布する。											
[参考書等]											
(参考書) 授業中に紹介する											
[授業外学習(予習・復習)等]											
毎回2~4頁程度読み進める予定なので、事前に該当箇所の予習をしてもらうこと。											
(その他(オフィスアワー等))											
オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。											